



Optex ***SENSING INNOVATION***

“見る”技術で、新しい価値と未来を創造する。

オブテックスグループは、センサや照明を用いた“見る”技術の追求により、ニッチ分野での事業成長を続けてきました。

変化や状態を“見る”、見えないものを“視る”、観察し判断する“観る”――。

今後、社会のあらゆる領域で、活用の拡大が期待されている技術です。

現在、セキュリティ、自動ドア、ファクトリーオートメーションなど、私たちが創り出す製品やサービスは幅広い分野に広がっています。

各分野で蓄積してきたノウハウや技術を基に、多様化するお客様のニーズや潜在的なウォンツを見つけ出し、

オリジナリティのあるソリューション提案を推進していくとともに、新たな領域への事業拡大にも積極的に取り組んでおります。

当グループは2017年より持株会社体制へと移行いたしました。1つの事業分野は決して大きな規模ではありませんが、

各専門分野での事業成長に向けた機動力と、グループ間での縦横の連携を深めることで、グループ全体の進化を図ります。

社会や産業の明日をより安全で便利にするために、世界中のお客様の満足を向上させるために、

私たちは、皆様の期待に全力でお応えしてまいります。

代表取締役社長 兼 COO
小國 勇

代表取締役会長 兼 CEO
小林 徹





世界のスタンダードを創る。

1980年、それまで人やモノの重さでマット内部のスイッチが入り、
ドアを開く信号を出す足踏みマット式が主流だった自動ドア業界に、
遠赤外線を用いたセンセーショナルな製品を開発したオプテックス。

当時、軍事用として使用されていた遠赤外線センサ技術を、分野の全く異なるドアの開閉システムとして応用。

世界に先駆けた自動ドアセンサは、瞬く間に新たなグローバル・スタンダードとなりました。



CREATE THE STANDARD

ひらめきが世界を変える。

センサは、物理現象を電気信号に変換するデバイスです。センサで集めた情報をどのように活かすかという
ひらめきが、お客様に満足していただけるソリューションの提供につながります。

世界各地で起きている事象に目を配り、変化に対する感度を高める。すばやく行動に移す。
さまざまな個性と専門性を持つヒトが集まり、自由闊達な意見交換を行う。その中でひらめきが生まれる。
こうして私たちは、今までの常識を変革する製品やサービスをいくつも世に送り出し続けています。



CREATE THE BRAND

オブテックスブランドを形成する4つの力。

Solution



市場創造
MARKETING

「今、何が求められているか」という潜在ニーズを捉え、営業・企画・開発が一体となって他社がまだ目を向けていない市場を開拓する。「競争のない市場」の創造が、新たな価値を生み出しています。



技術
TECHNOLOGY

モノづくりを行うメーカーにとって、価値創造の源となる技術開発。私たちは保有する技術を磨き続けるとともに、使用される現場や目的に最適な手法を検討しながら技術開発を行っています。他社に真似できない独創的な技術により生まれた製品は、高い性能を実現します。



モノづくり
PRODUCT

お客様に納得を超えた満足を提供できるよう、他とは違うところに目をつける。モノづくりに向き合う「Something Different」の思想が、決定的な競争力を持つ製品やサービスの創出につながっています。



ヒト
HUMAN

オブテックスが大切にしているのは、失敗をおそれず、常に前向きにチャレンジし続ける、ベンチャースピリットを持つメンバーの集合体となること。フラットな関係と互いを高め合う風土が、自ら考え判断し、新しいビジネスを生み出す力となっています。



BUSINESS FIELD

セキュリティ

テロの脅威、犯罪の凶悪化によって高まるセキュリティニーズに対し、侵入検知センサ、カメラ起動用センサ、CCTV用照明などのセンサ・システムを提供し、社会インフラに関わる重要施設から一般住宅での防犯対策に活用されています。犯罪や侵入を未然に防ぐ「事前抑止」というコンセプトで人々の安全を守っています。



自動ドア

建物や施設に入る時、だれもが無意識に利用する自動ドアは、高い安全性と快適性が求められます。世界の安全基準をクリアするとともに、利用者や設置場所の特性に合わせたドアの開閉を実現。施設用自動ドアを中心に、車両や医療などの特殊用途向け自動ドア、工場用自動シャッターなど、あらゆる場所で活用されています。



店舗マネジメント

人数を正確に計測する人数カウントシステムは、商業施設などのマーケティングや店舗経営に有効なデータとなります。また、顧客動線を分析することで、商品のレイアウトやスタッフの配置などの最適化を図り、魅力ある店舗づくりに効果を発揮しています。



今を支える事業分野

センシング技術と照明技術をコア・コンピタンスとするオプテックスグループは、幅広い事業分野において製品やサービスを提供しています。



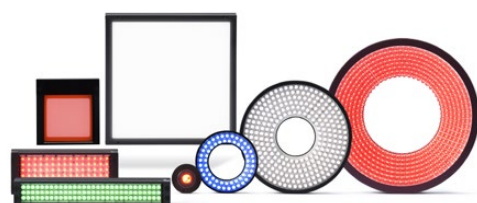
FA用センサ

工場の生産ラインの自動化や品質管理に欠かせない、産業用センサ。幅広いラインアップの中から、用途に最適な製品を選定。見落としのない正確な検出へと導き、世界中で日々進化を続けるモノづくりの現場をサポートしています。



産業用LED照明

お客様の環境やニーズに合わせて最適化したLED照明は、生産現場の画像処理検査の精度向上に大きく貢献しています。また、自然光LEDをはじめとするLEDデバイスや、樹脂硬化などに使われるUV照射器、医療用途など幅広い分野でライティングソリューションを提供しています。



環境

世界規模で課題となっている水質の安全確保。対策として、水質検査やモニタリングが重要なファクターとなっています。下水処理場や河川などの水質を測定する計測器や、データ収集までを自動化する測定システムは、水質の予防保全に寄与しています。



車両・道路・交通・駐車場

スムーズで安全な運転や危険な運転といった運転挙動を見える化し、運転者に気づきを与えて、安全運転意識を高める運転サポートツールを開発。また、効率のよい駐車場運営管理を実現する車両検知センサで、安全で快適なクルマ社会を築いています。



“見る”を一步先へ。

デバイスの多様化やネットワークの拡がり、クラウドやIoTの進展などによって、私たちを取り巻く環境は変化し、事業の在り方にも本質的な発想の転換が求められています。私たちはこの流れを大きなチャンスと捉え、“見る”技術を進化させ、既存ビジネスの変革や新ビジネスの創出を促進していきます。

技術を新たな領域へ拡げる。

私たちは技術潮流の変化を読み、時代や社会のニーズに合わせた技術を取り入れてきました。今後も、M&Aや協業などを通じて、ソリューションに最も適した手段を選べるよう、技術の幅を広げていきます。また、これらの技術を新たな用途へと応用し、企業成長を加速していきます。

IoT時代に適合する。

近年、「Internet of Things (IoT)」の出現により、新しいビジネスモデルの構築が必要とされています。私たちは、お客様のビジネスにとって本当に意味のあるソリューションを提供する「Internet of Sensing solution (IoS)」というコンセプトのもと、専門性のあるビジネスパートナーとの連携を強化し、新たなビジネスの具現化を推進します。

CREATE THE FUTURE

変化に対応するグループへ。

オブテックスグループは、各事業会社が得意とするフィールドで、日々変化する市場やお客様のニーズに機敏に対応し、より良い製品やサービスを提供することで、社会に必要とされる企業を目指していきます。

沿革

1979	オブテックス株式会社設立	2007	オブテックス・エフエー株式会社が日本エフ・エーシステム株式会社を子会社化 英国FARSIGHT SECURITY SERVICES LTD.を子会社化
1980	世界初の遠赤外線式の自動ドア用センサを開発	2008	オランダOPTEX TECHNOLOGIES B.V.を子会社化 株式会社ジーニックを子会社化
1985	米国にOPTEX (USA) INC.を設立 光電センサの開発着手	2010	米国FIBER SENSYS INC.を子会社化
1986	東京営業所を開設	2012	英国RAYTEC LIMITEDを子会社化 インドに合併会社OPTEX PINNACLE INDIA PRIVATE LIMITED、
1989	独エルヴィン・ジック社との合併会社ジックオブテックス株式会社を設立	2013	オブテックス・エフエー株式会社が中国に広州奥泰斯工業自動化制御設備有限公司を設立
1990	オーバルオブテックス株式会社設立	2014	OPTEX (EUROPE) LTD.を欧州・中近東・アフリカ地域を管轄するEMEA Headquartersと 位置づける
1991	英国にOPTEX (EUROPE) LTD.を設立 日本証券業協会に店頭公開	2015	OPTEX INCORPORATEDを北中南米地域を管轄するAMERICAS Headquartersと位置づける
1994	香港にOPTEX (H.K.) LTD.を設立	2016	ベトナムで委託生産を開始 シーシーエス株式会社および英国GARDASOFT VISION LIMITEDを子会社化 タイにOPTEX (THAILAND) CO., LTD.を設立
1995	中国で委託生産を開始	2017	オブテックス・エフエー株式会社を完全子会社化 オブテックスグループ株式会社を持株会社とする新たな体制に移行
2001	東京証券取引所市場第二部上場	2018	株式会社スリーエースを子会社化 オブテックス・エムエフジー株式会社を設立
2002	光電センサ事業を分社化し、オブテックス・エフエー株式会社を設立		
2003	韓国にOPTEX KOREA CO., LTD. と、 フランスにOPTEX SECURITY SAS を設立 東京証券取引所市場第一部上場		
2004	技研トラステム株式会社を子会社化 米国にOPTEX TECHNOLOGIES INC. を設立 ポーランドにOPTEX SECURITY Sp. z o.o. を設立		
2005	オブテックス・エフエー株式会社が、大阪証券取引所「ヘラクレス」に上場 中国に生産工場OPTEX (DONGGUAN) CO., LTD.を設立		

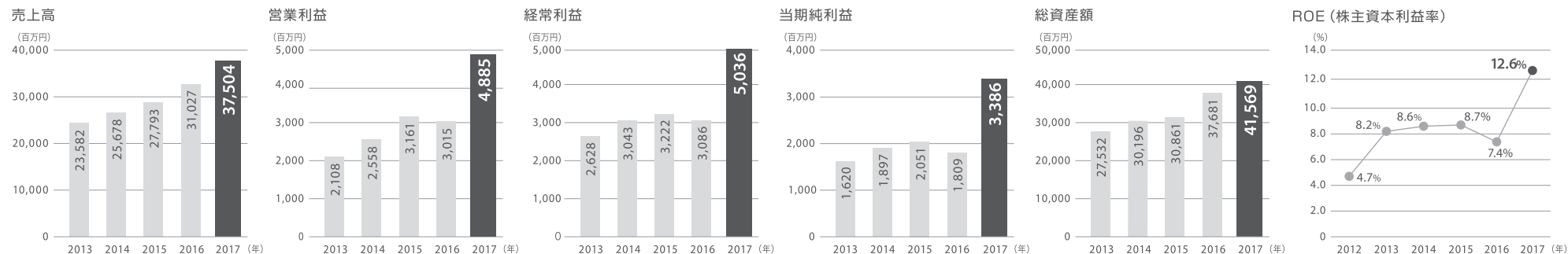
■ 会社概要

(2018年7月1日現在)

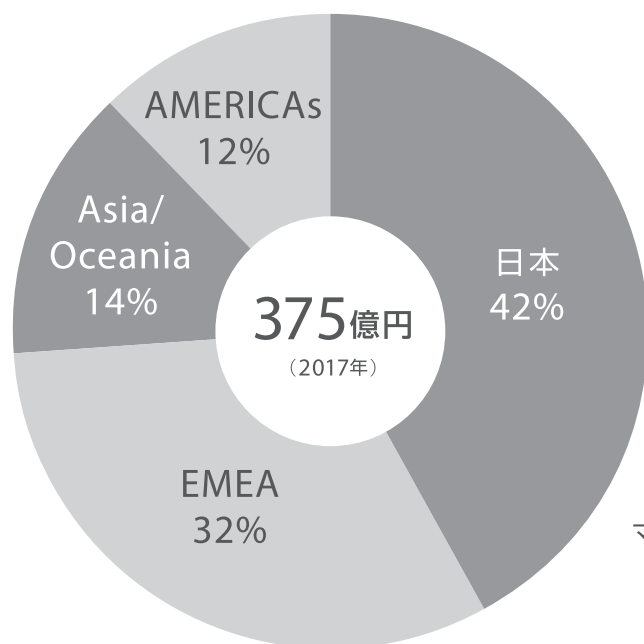
会社名	オブテックスグループ株式会社	事業内容	純粋持株会社(グループの経営戦略策定、経営管理及びそれに付帯する業務)
資本金	27億9,827万円	従業員数	連結 1,945人 単体 28人(パート・アルバイト含む)
上場市場	東証一部上場(証券コード6914)	事業会社	オブテックス株式会社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-8-12 オブテックス・エフエー株式会社 〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町91 京都リサーチパーク9号館 シーシーエス株式会社 〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル桜鶴円町374番地 株式会社スリーエース 〒600-8088 京都府京都市下京区万寿寺通高倉東入官社殿町199番地 オブテックス・エムエフジー株式会社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-8-12 オーバルオブテックス株式会社 〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-265-1
代表者	代表取締役社長兼COO 小國 勇	子会社	33社
所在地	〒520-0101 滋賀県大津市雄琴5-8-12		
設立	1979年(昭和54年) 5月25日		
	持株会社制への移行に伴い2017年1月1日付でオブテックス株式会社から オブテックスグループ株式会社へ商号変更いたしました		

■ 財務ハイライト

(2017年12月31日現在)

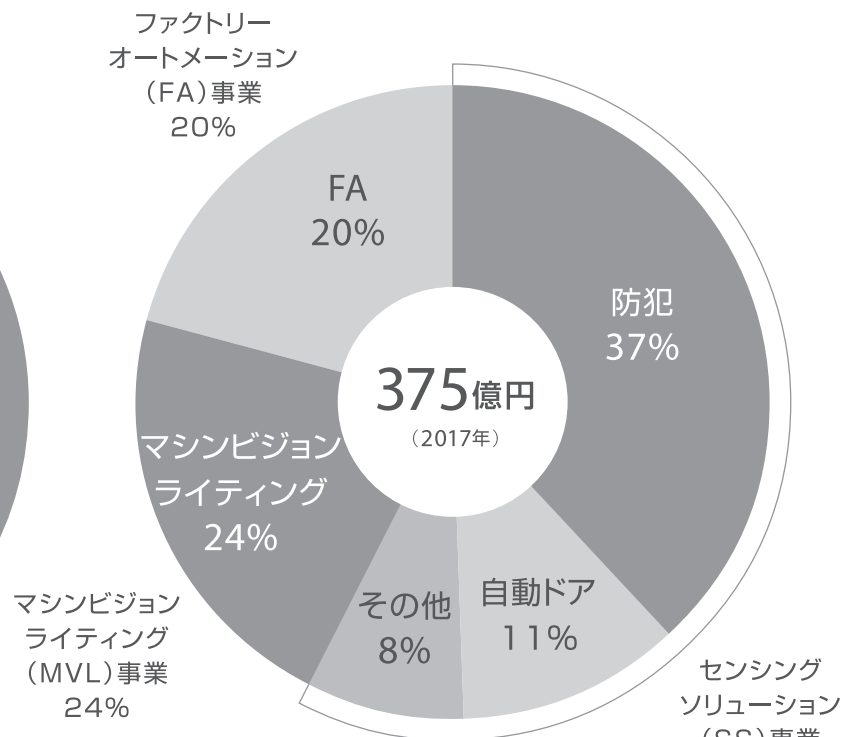


■ 地域別売上高構成比



EMEA:ヨーロッパ、中東、アフリカ
AMERICAs: 北中南米

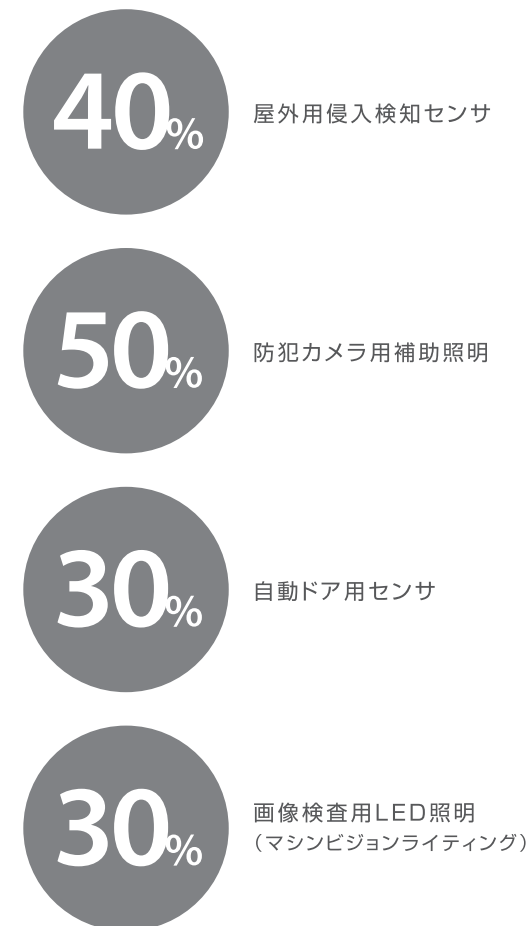
■ 事業別売上高構成比



マシンビジョン
ライティング
(MVL)事業
24%

センシング
ソリューション
(SS)事業
56%

■ 世界マーケットシェア



OPTEX GROUP STRUCTURE



<持株会社>



オプテックスグループ株式会社

(東京証券取引所 第一部上場 証券コード：6914)

<事業会社>

オプテックス株式会社



防犯・自動ドア等
各種センサ開発・販売

オプテックス・エフエー株式会社



ファクトリーオートメーション用
センサの開発・販売

シーシーエス株式会社



画像検査用LED照明の
開発・製造・販売

株式会社スリーエース



各種システム及びアプリケーション・
デジタルコンテンツ開発

オプテックス・エムエフジー株式会社



グループ製品の製造・
電子機器受託生産サービス

オーパルオプテックス株式会社



会員制スポーツクラブおよび
環境体験学習プログラムの運営